

岡山県

せいきょうう連会報

2006

新年あけまして
おめでとう
ございます

CONTENTS

新年のあいさつ	
会長理事	1
岡山県知事	2
各界の方々	3~9
岡山県に「要望書」を提出しています	10
万一自然災害が発生したら…	10
県生協連の取り組み	11~12
組合員・議員・役員が交流し、学ぶ	13~14
県内の協同組合・諸団体とともに	15~16
会員生協 トピックス	17~18
岡山県生活協同組合連合会紹介	19
会員紹介	20~22

岡山県生活協同組合連合会



平和とよりよい暮らしのために



岡山県生活協同組合連合会
会長理事
吉 永 紀 明

新年明けましておめでとうございます。

会員・組合員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、岡山県はじめ各市町村の行政の皆様、県議会はじめ各議会の皆様、県消団連や平和の取り組みなどにご参加の皆様の団体・組織の皆様には、昨年1年間本当にお世話になりました。深く感謝申し上げます。

昨年は被爆・敗戦60年ということで、沢山の平和の取り組みが行われました。

私自身も、いくつかの貴重な経験をさせて頂きました。

1つは、4月末から5月初めにかけて、ニューヨークで開かれたNPT（核不拡散条約）再検討会議に生協代表団の団長として参加しました。国連本部会議の傍聴、各国への要請、日本被団体が行う原爆展や小中高・大学生への被爆の話のサポート、そして2万人がマンハッタンを歩いたピースマーチへの参加など多くの取り組みを行うことができました。

2つには、9月に県生協連の主催でベトナムを訪問しました。

その主要な目的のひとつは「ベトちゃん・ドクちゃんに会うこと」でした。

「平和村」という枯葉剤で障害を持った60人の子供たちが入院している施設があります。

ドクさんは24歳になって、その施設で職員として働いていました。ベトさんはベッドで寝たきりで、会話もできない状態でした。

ベトナム戦争が終わって30年が経ちますが、3代にわたって現在も枯葉剤の影響があることにショックを受けました。

一日も早く核兵器が廃絶され、戦争のない

社会が実現することを願っています。

さて昨年後半から景気回復の基調にあると言われていますが、まだ国民の実感にはなっていません。

それどころか、定率減税の縮小廃止が実施されますし、介護保険料の引き上げ、年金の先行き不安、消費税率の動向など将来の暮らしに対する不安が大きくなっています。また、原油高によるガソリンや灯油価格の引き上げも家計を圧迫しています。

流通業界も、激烈な競争競合が続いています。岡山県でも三越やダイエーが撤退する一方でスーパーの出店が相次ぎ、オーバーストアともなっています。

食の問題でも、鳥インフルエンザがアジアで猛威をふるい、人への感染も広がり、不安が拡大しています。また、BSE問題でストップしていたアメリカ産の牛肉の輸入再開が決まりましたが、再開に不安視する声が多くあります。

「消費生活条例」の改正に伴って「岡山県消費生活基本計画」の策定が行われ、また、消費者被害の救済のための相談窓口の充実や団体訴権制度の準備も進んでいます。

生協全体にとっても、昨年は大変厳しい1年でした。その中で、購買生協では中国四国の9県の生協で事業連合を立ち上げて、連帯が大きく進みました。

今年もまた、組合員はもとより、県民のいのちとくらしと平和を守るために、県内の生協が一致協力して取り組みたいと決意を新たにしています。

皆様のご支援ご協力を願っています。

新年にあたってご挨拶



岡山県知事
石井正弘

新年あけましておめでとうございます。岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様に佳き初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

県生協連におかれましては、個人消費が緩やかには改善しているとはいえ経営環境が依然厳しい状況の中、県民生活の向上と地域社会の発展に貢献しておられることに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

また、昨年は、県政の各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

昨年開催されました「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」は、岡山らしい魅力と感動にあふれた大会として、大成功のうちに幕を閉じました。ご尽力いただいたすべての皆様に心からお礼申し上げます。両大会に結集した「県民力」、「人の和」は、必ずや、きらりと輝く「快適生活県おかやま」の実現に向けて、大きな力になってくれるものと信じています。

皆様との夢づくりに向けた協働の取り組みも着実に広がっています。「新世紀おかやま夢づくりプラン」は計画期間の最終年度を迎えることから、ボランティア・NPO、企業など産学官民の多様な主体との協働により、プランの目標達成に向け、「活力ある産業の創造と雇用の確保」「将来の地域社会を支える人づくり」「県民の生涯にわたる快適で安全・安心な生活の確保」の三つを最重点テーマとして

全力で取り組みます。

さて、地方分権の確立のため、地方に権限と財源を移す三位一体の改革や市町村合併が大きく進んでいますが、このように急速に進む地方分権型社会に対応するためには、自己決定・自己責任のもと、自立力を高めることが重要です。そこで改訂第3次岡山県行財政改革大綱に沿って、行財政改革を一層推進し、分権時代にふさわしい簡素で効率的な行財政システムの構築に向け、「創造のための改革」にさらに努力する決意です。

本年も、人と地域が輝く郷土おかやまの発展のため、自立と協働を基調とした県政を着実に推進してまいります。

最後に、岡山県生活協同組合連合会の会員並びに組合員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

岡山県議会議長・



岡山県議会議長
小枝 英勲

平成18年の年頭に当たり、謹んでごあいさつを申し上げます。

生活協同組合員の皆様には、新春を清々しくお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から環境、福祉等、各種分野に幅広く活動され、県民福祉の向上に多大なご尽力を賜っているところであります。深く敬意を表します。また、県政並びに県議会に対しましても、温かいご理解とご協力をいただいており、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、岡山県では、天皇皇后両陛下をはじめとする皇族の御臨席を仰ぎ、本県で43年ぶりに開催された「晴れの国おかやま国体」において、本県選手団の華々しい活躍により、天皇杯、皇后杯獲得という快挙がございました。

続いて開催された「輝いて！おかやま大会」においても、選手の皆様が、全力を出し尽くし、友情を育まれ、多くの人々に興奮と感動を与えてくれました。

県民皆様の総参加のもと、このように両大会ともに成功裡に終えることができました。ご尽力いただきました全ての皆様に、心から敬意と感謝の意を表します。

この両大会を契機として、国際舞台で活躍するトップアスリートの育成など、本県スポーツの振興に引き続き取り組んでまいります。

今日、我が国は、少子・高齢化の進展により、超高齢・人口減少社会を迎えようとしております。こうした変化に対応した豊かな社会を築くため、地方分権を推進し、自立した国と地方の

関係を確立することが求められております。国・地方を通じた財政構造改革、「三位一体の改革」は待ったなしの喫緊の課題であります。

こうした中、県では、この度、第3次行財政改革大綱の改訂を行い、新たな課題や県民ニーズに対応できるスリムで効率的な行政システムの構築を目指し、さらなる改革に取り組んでいくところであります。

また、地方分権により、地方公共団体の権限が増大するため、執行機関のチェックなどをを行う議会の果たす役割も高まっております。県議会といたしましては、昨年2月定例会で、議員提案による政策条例として、「基本的な計画を議会の議決事項等と定める条例」を制定しましたが、計画策定の段階から議会が積極的な役割を果たすことで、県民の視点に立った透明性の高い県行政の推進を行ってまいります。

さらに、全国的に地方議会のあり方、機能強化に向けた動きが活発化していますが、本県におきましても、議会機能の充実・強化や審議の活性化について積極的に取り組んでいるところであります。

今後とも、県議会に対する県民皆様の負託にこたえ、県民の幸せを第一とする県政を進め、「快適生活県おかやま」の実現に向けて、全力で取り組んでまいる所存でございますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、ご多幸の一年となりますよう心から祈念いたします。

よ
い
す
き

会派代表のみなさま



自由民主党県議団
団長
戸室 敦雄

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

岡山県生活協同組合連合会の皆様は、常日頃から消費者支援の立場で様々な事業を推進されておられるところであり、深く敬意を表する次第であります。

消費者・生活者重視の社会を実現し、安全で安心できる消費生活を送ることは、県民全ての願いであります。このため、県では、消費者保護基本法の改正を受け、昨年4月、「岡山県民の消費生活の安定と向上を促進する条例」を「消費者の権利尊重」と「消費者の自立の支援」を基本理念とする「岡山県消費生活条例」として28年ぶりに全面改正したところであります。

現在、条例に基づく基本計画の策定作業が行われておりますが、この計画により、県行政の各部門において消費者施策が総合的かつ計画的に進められるよう、努めてまいる所存であります。

さて、昨年6月、我が自由民主党を中心とした議員立法として、食育基本法が成立し、今後教育の現場のみならず、家庭や地域も主体となって、不健全な食生活の改善や失われつつある伝統的な食文化の復活、給食の米飯比率の引上げなどに取り組むことになりました。

その取り組みの一つが、地産地消運動であります。生産者の顔が見え、安全、安心で、しかも新鮮な農林水産物が提供されるということで、消費者からも大いに喜ばれており、今後とも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

岡山県生活協同組合連合会が取り組まれている範囲は大変幅広く、福祉、環境、平和の問題にも及んでおります。今後とも益々のご活躍されますよう、ご発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶をいたします。



民主・県民クラブ
議員団長
鈴木一茂

皆さん、あけましておめでとうございます。さて、昨年暮れ、仲間たちと沖縄方面に行ってきました。

チャンプルや豚肉、そして泡盛と沖縄料理を堪能してきましたが、帰る最後の食事に少し軽いものをと食事処を探していたら、寿司屋が目に入った。沖縄にもくるくる寿司があるのだと、妙に感心して店に入ったら、外国人（特に女性）のお客様の多いのに、さらにびっくりしました。

最近のヘルシー時代を象徴してか、日本の食文化の代表が、世界の食になったんだなと改めて感じ入りました。

食は、私たちのエネルギー源ではありますが、それぞれの地域や国の文化そのものでもあり、人の歴史も食と共にあるといつても過言ではないと思います。

“歌は世に連れ、人に連れ”とよく言いますが、食も同じで、私たち人間にとては、エネルギー源だけでなく、心の滋養や人間形成にも大きな影響を与えるし、何よりも、自分の歴史や思い出が、よみがえてくるのが嬉しい。

私は、終戦直後生まれですので、学校給食でコッペパンに脱脂粉乳を浸して食べたり、硬い鯨肉を思ひだします。今の若者は、見向

きもしないだろうけど、食物が不足していた当時は、結構おいしく感じたし、感謝しながら、もったいないと何でも残さずいただいたものです。

コッペパン、カレーライス、鯨肉の竜田揚げ、カボチャや芋の煮物、においのきつい人参、時々食べれる牛肉のうまかったこと等…。と、今考えると決して、すべてうまかったとは言えませんが、たくさんの思い出の詰まった「学校給食」。あのメニューをもう一度、味わいたいと思っている人は案外多いのではないでしょうか。

好きなものだけを好きなだけ食べる。今の食生活は何の思い出も残らないし、浮かんでもこないような気がします。

思い出をバネにしながら、未来に羽ばたくためにも、「子どもたちに、自分の健康を考えさせ、食物の育成や収穫を通じるなどして、望ましい食習慣を身につける」ことは、これから社会を支える子どもたちへの私たち大人の最低限の義務ではないでしょうか。

生協連の皆様も、ぜひその一躍を担っていただきたいものであります。

本年も皆様方のご活躍を心から祈念して、挨拶とします。

新年のこまいでつ

岡山県議会会派代表のみなさま



公明党岡山県議団
団長
景山貢明

新年明けましておめでとうございます。

ご承知のようにわが国の場合、急速な少子化による人口の減少が明らかになっています。これは経済だけではなくわれわれの生活、とりわけ社会保障制度の在り方にまで大きな影響を与えるわけで皆さん本当に心配だと思います。

したがいまして、私たちお互いが“人口減少社会”への対策をしっかりとと考えていかねばならないし、お互いそれぞれ老若男女社会的な立場はちがっていても“なんとかせねば…”との共通の想いをもって新しい時代に望みたい。

とりわけやはり「子育て支援策」の拡充が最も大切なのはと主張せざるを得ません。子供の年間出生数は1973年から減り始め、現在は当時の約半数にまで落ち込んでいるのが全国の統計のようです。やはり少子

化の原因是いろいろあるでしょうが、仕事と育児の両立が難しいとの理由で結婚をおくらせたり、結婚しても子育てにかかる費用を理由に出産をためらうなどの社会的要因があるのではとの指摘もある訳ですが、やはりこうしたハードルを低くしていくことこそ大切な訳でしょう。そのためにもお互いがいろんな角度からそのハードルを個人個人の意識の改革もふくめて低くしていくことがとりわけ重要なのでしょうか、やはりその先頭を切っていくのが政治の大きな役割です。そのためにもそれぞれお互いが声を大きくあげていく年としたいものです。



日本共産党県議団
団長
武田英夫

戦後60年の昨年一年間、核廃絶と平和の問題をはじめ、消費者の権利、食の安全、医療と介護、環境など様々な課題への市民の立場からの取り組みに対し、まず敬意と連帯を表明するものです。

残念ながら、昨年1年間も世界中で戦闘やテロが蔓延し、台風、ハリケーン、地震などの災害が多発し、多くの尊いのちが失われました。

さらに女児殺害事件の多発、アスベスト問題や、耐震強度の偽造問題など、希望の21世紀が始まつばかりであるにもかかわらず、時代は「世紀末」という様相さえ感じられます。

いったい何が問題なのでしょうか…勝ち組・負け組が決まり、強い者が勝ち続ける社会、規制緩和の名のもとで命と安全がおろそかにされる、いわゆる「新自由主義」という流れが台頭し、ブッシュ・小泉流の政治が氾濫しているのが要因だと私には思えてなりません。

時の権力者は、市民を分断させることを常套手段としています。今日では公務員労働者と民間労働者、現役世代と高齢者、消費者と中小業者、働く女性と専業主婦を分断させようとする動きが根本となって、大増税などの仕組みが作られているのではないかでしょうか。

市民にとって大切なことは、「連帯と共同」へと進んでいくことではないでしょうか。改憲と増税にストップをかける「連帯と共同」の輪を広げいかねばなりません。

今年の干支は犬です。犬は、人間との古い歴史を持った動物であり、社会性に富んだ動物です。私たちも、戌年らしく歴史を重んじ、社会的な連帯で新しい時代を切り開いていくではありませんか。

生協連のみなさんにとって、新しい年が新たな飛躍の年になりますよう祈念し、メッセージといたします。

2006年 正月

新

年

の

ご

ま

い

で

つ



日本生活協同組合連合会
会長
小倉修悟

新年明けましておめでとうございま
す。

21世紀を真に平和の世紀に、という私たちの願いを踏みにじるように、世界各地で憎悪と対立の連鎖が続いています。私たちは、昨年開催されたNPT（核兵器の不拡散に関する条約）再検討会議に、唯一の被爆国の市民として生協の代表団を派遣し、核兵器廃絶に向けた組合員の声や願いを届けました。被爆・敗戦60年が過ぎ、徐々に戦争体験の語り部が減ってきています。引き続き核兵器の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぎ、国際社会に向けて粘り強く核兵器廃絶を訴えていきましょう。

世界の各地で未曾有の災害が毎年のように発生し、多くの被災者が困窮した生活を強いられています。私たちは、昨年1年間かけて「コープ・ユニセフスマトラ沖地震・津波復興支援募金キャンペーン」に取り組み、貧困、飢餓、暴力、紛争といった困難に直面する人々が自らの意思で参加し協同するコミュニティの再生に役割を發揮してきました。引き続き、世界の人々が平和で安心して暮らせる地球社会の実現に向けて取り組んでいきましょう。

日本経済は景気回復の基調にあるといわれていますが、人口減少と少子高齢化を核とした社会の構造的変化が始まり、

人々の暮らしと将来への不安が拡大しています。このような状況の下、海外資本の進出や大手流通企業の再編の中で小売業の競争は一段と厳しさを増しています。

2005年の日本生協連総会では「日本の生協の2010年ビジョン」を確認しました。2010年ビジョンは、日本の社会全体が大きな構造変化に直面する中で、2010年までの日本の生協運動の改革の方向を全国レベルで共有するものです。私たちは2010年を展望して、「ふだんの暮らしに最大貢献する」を何よりも優先し、統合化されたリージョナル連帯を基盤として、常に改革・革新しつづけることをめざしていかなければなりません。事業・経営構造改革のスピードをさらに速めて強固な事業連帯の構造を全国的に確立し、生協の21世紀理念「自立した市民の協同の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現を」のために、志を高く持ち全国で強靭な生協づくりを進めましょう。

新 年 の ご

協同組合・友誼団



岡山県農業協同組合中央会
会長
村上進通

新年明けましておめでとうございます。岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、わが国農業を取り巻く情勢は、輸入農産物の増大や担い手の減少、高齢化の進展、新たな食料・農業・農村基本計画の具体化に向けた品目横断的経営安定対策への転換、水田農業の構造改革を柱とした米政策改革の推進等内外共に多くの課題を抱え、かつてない厳しい状況にあります。

このような中でわたしたちは、JAグループ岡山一丸となって、地域の発展のためには、地域の農業の活性化が不可欠との信念のもと、地産地消運動の推進やトレーサビリティシステムを通じて、岡山ならではの

安全・安心な農産物の生産振興に全力を注いでいます。

また、健全な食生活の実現、農業や食に関する正しい知識の普及、食文化の継承など食育の推進に取り組んで参りたいと考えております。

こうした取り組みこそグループ全体の責務であり、本年度も県民のみなさんのご理解とご支援をいただきながら、地域農業の活性化と農家の生活と経営の向上をもたらす、暖かく穏やかな岡山の「農」の「小春日和」を引き寄せ得るよう、更に力強い努力を重ねていく所存であります。

皆様方の農業へのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、岡山県生活協同組合連合会の益々のご発展と組合員の皆様方のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



岡山県漁業協同組合連合会
代表理事長
奥野雄二

岡山県生活協同組合連合会の会員、組合員のみなさん、明けましておめでとうございます。

平素は本県水産業の振興につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内においては、景気が上向き「踊り場」脱出宣言、野口さん宇宙へ、紀宮さまのご結婚等うれしいこともありました。JR福知山線の脱線事故、ビルの耐震強度偽装問題、悪質リフォーム被害問題、幼い子供の殺害等は、社会的責任の欠如、弱い者いじめでまさに、人として倫理に欠けるものであります。

また、海外においても、エジプト、バリ島での爆破テロ、パキスタンの大地震等本当に暗いニュースの多い年がありました。

現在、経済は上向いていると言われておりますが、本県の水産業に関しては、漁業資源の減少、長く続く魚価の低迷、高齢化、後継者不足等、毎年同じ句の厳しい現状であります。

このような状況ですが、「先祖から受け継いできた海を子孫に伝える」という意識で漁協合併が少しずつ動き始め

ました。そして、同時に、漁協経営の柱であります販売事業、特に直販事業につきましては漁業者間で大いに議論されています。つまり、自分たちが獲って来た魚は、自分たちが販売をするんだ!と言う気持ちに変わりつつあり、まさに、「地産地消」の推進機運が高まっています。

しかし、ものには常に相手があるわけですから、地産地消を推進するためには、消費者との意思疎通を十分に図っていかなければならないと思っています。

また、我々漁業者は、魚を獲るだけではなく、この魚は何時が美味しいのか、獲った魚をどのように調理したらよいのか等、情報発信しながら魚食普及活動もしていきたいと思っています。

問題山積で、本年も厳しい状況ではありますが、漁業関係者一丸となって、全力で努力して参る所存ですので、皆さまのご理解、ご支援、ご協力をお願ひ致します。

終わりになりましたが、今年が良い年でありますよう、また、皆さまのご多幸、ご健勝を祈念しまして新年の挨拶とさせて頂きます。

よ
い
す
つ

体代表のみなさま



岡山県森林組合連合会
代表理事長
井 手 紘一郎

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

生活協同組合の皆様方には、岡山県民の消費生活の安定と向上を促進するため、消費者の権利の確立と暮らしの安全・安心につながる社会システムづくりをめざして努力されておられますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、農林水産業は、食料や木材等、暮らしに欠くことができない最も基礎的なものを供給する機能に加え、県民が安心できる豊かな暮らしを守る基盤として重要な役割を担っています。中でも森林は、木材生産、水資源のかん養、地球温暖化防止など、私たちの生活に欠かすことのできない様々な効用を与えてくれてい

ます。

しかしながら、県内の森林は一昨年の台風により県北部を中心に甚大な被害を受け、現在全力で復旧作業に取り組んでいるところであります。我々森林組合系統といたしましても、一日も早く失われた森林資源を取り戻し、豊かな森林が持つ多面的機能を回復すべく精一杯努力する所存でございます。

最後になりましたが、皆様方の森林・林業へのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げるとともに、岡山県生活協同組合連合会の益々のご発展と組合員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



岡山県婦人協議会
会長
水 野 三重子

2006年の新春を岡山県生活協同組合連合会、組合員の皆様は夢と希望をもってお迎えになりましたこととお慶び申し上げます。

安心、安全を願う消費者の先頭にたって何事も真剣に積極的に取組んでおられますことに改めて敬意を表したいとおもいます。残念なことですが社会は安心安全の反対に進んでいるようにおもわれます。鳥インフルエンザはひろがる様相をみせ、アメリカ産牛肉は不安を残したまま再輸入されるようです。又地球温暖化的現象として海面の上昇や相づぐ台風の発生などがあげられています。

地球を守る為に、その星に住む生ある者のために世界中の人々が手をつなぎ合えるのは一つのことでしょう。もう余り時間はないような気がしますが。

新 毎 の ご ま い で つ

福祉協議会代表のみなさま



岡山県社会福祉協議会
会長

定 金 聰

新年あけましておめでとうございます。

日頃から、本会の活動に格別のご理解とご支援をいただき厚くお礼申しあげます。

さて、中央に於いては地方分権による三位一体改革の一層の推進と併せ、介護保険法の改正、なかでも在宅分野においては「地域支援事業」の中核機関となる「地域包括支援センター」の設置をはじめとして制度改革が行われ、社会福祉を取り巻く環境は一段と変革の時を迎えるとしております。

このような中、誰もが個性や能力を最大限に発揮して、住み慣れた家庭や地域のなかで、安心していきいきと暮らせる福祉社会の実現に向けて、私たち社会福祉協議会は、地域住民や関係者の協力を得ながらボランティア活動の推進や福祉の担い手

の養成・育成、福祉に関する相談・情報提供など様々な活動を展開しておりますが、新たな時代の地域福祉の推進役として、今後ますます取り組みの強化を図っていく所存です。

本年も皆さまの一層のご支援、ご協力ををお願いいたしますとともに、岡山県生活協同組合連合会のますますのご発展と会員皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつといたします。



(社)岡山県労働者福祉協議会
会長

岡 本 和 子

新年あけまして、おめでとうございます。

岡山県労福協は1969年3月に設立され、今年で37年になります。生協連は、労福協の会員として労福協の活動に参加していただいている。皆さまが、消費者問題や食の安全について、熱心に取り組んでおられることに敬意を表します。

労福協は、労働相談、消費者教育、年金・税務相談、介護・福祉・文化・スポーツなどの取り組みに力を入れていますが、最近、これに新しいものが加わりました。

その一つは、「無料職業紹介事業」です。2005年9月に厚生労働大臣の許可を得て、10月より「ジョブおかやま」として事業を開始しました。

二つ目は、「子育て支援おかやま緊急サポートネットワーク事業」です。少子化対策・仕事と育児の両立を支援する国の施策の一つで、2005年10月に厚生労働省から岡山県労福協が業務受託を受けました。緊急時に子どもを一時的に預けたい労働者と、

その子どもを預かるサポーターを組織化して、両者の間を取り持つ役割を担うものです。諸準備が整ったので、昨年12月から募集を開始しました。

三つ目は、倉敷市指定管理者制度による倉敷・玉島・児島の労働会館の委託事業です。これら三つの労働会館は、もともと労働者の福利厚生のために建設されたものです。この目的に沿って、地域勤労者ライフサポートセンターとして、今年の4月から岡山県労福協が管理運営を始めます。

今年も、生協連に結集する各生協や組合員の皆さまが、充実した生協活動をすすめていかれることを期待しています。

私どもも、皆さんと連携しながら頑張っていきますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

岡山県に「要望書」を提出しています

要望は7つの分野、22項目です。（以下は項目要旨）

提出日 平成17年10月19日

1. 生協の育成・強化

- ①消費生活協同組合運営指導委託料の引き上げ。
- ②県消費生協資金貸付制度の金利引き下げと運用条件の改善。

2. 消費者行政について

- ①消費生活基本計画の充実と計画の実効性を高めること。
- ②消費者啓発活動、消費者教育に県のリーダーシップを發揮し、NPO・消費者団体と連携した取り組みの具体化。

3. 食の安全について

- ①実効性と相互理解を高めるためにも、リスクコミュニケーションを大切に。
- ②健康食品等の監視、適正表示に関する指導の強化を。
- ③農産物のトレーサビリティシステムについての消費者などへの情報伝達とシステム活用のための支援施策（広報など）を。
- ④BSE検査の全頭実施の継続を要望します。
- ⑤HACCPシステムについて、企業への導入援助と点検強化を。
- ⑥「食育推進計画」を地域、学校、保護者などの参加と連携で。
- ⑦「食品安全対策協議会」の定例開催、緊急時対応、県民への情報提供、資料・議事録公開など会の機能強化を。
- ⑧食品衛生監視指導計画の策定にあたって、広く県民の意見を聴取し、県民の食品安全意識の向上に努められたい。
- ⑨食品安全行政は県政の最も基本的な行政課題の一つであることを位置づけ、その法的な枠組みとして「食の安全に関する基本条例」を策定することを要望。



↑「要望書」を手渡す吉永県連会長（右）と岡野県民生活課長

4. 災害対策について

- ①災害協定締結団体との定期協議を行う中で、緊急物資の見直し、緊急車両の扱い、防災訓練（図上演習含む）への参加、生協にあっては員外利用の許可扱いなど実践的課題について、相互確認を得られること。
- ②災害時緊急物資協定以外に、例えばボランティア活動での情報提供や協議・懇談の場を設けていただくこと。

5. 環境対策について

- ①地球温暖化対策など啓発運動の強化、マイバッグ持参運動の「レジ袋有料化」では企業等への指導の強化を。

6. 保健・医療・福祉・介護・少子化対策について

- ①介護サービス情報は、ホームページが利用できない住民などに対して、ケースに応じた情報提供方法の検討を。
- ②県の独自施策として、介護保険料・利用料の減免及びホテルコストを含む援助制度を設けてください。
- ③特養老人ホームの増設など市町村の財政に応じた援助をすすめてください。
- ④乳幼児の医療費無料制度について、対象年齢を入院同様外来も就学前に改善を、県として国への働きかけを。
- ⑤障害者医療は、1・2級に対して行われている医療費助成制度を3級該当者まで拡大を。

7. 産消提携、地産地消運動について

- ①食の安全・安心と食料自給率向上のためにも、生産者や産地の支援、消費者との交流の促進を。

万一自然災害が発生したら…物資を供給する協定が結ばれています。

協定を結んでいる自治体と生協

岡山県 ⇄ *岡山流通情報懇話会
と岡山市

おかやまコープ・三井造船生協 が加盟

[*岡山流通情報懇話会は、岡山県に本社を置くスーパーマーケットのグループ]

津山市 ⇄ おかやまコープ
玉野市 ⇄ 三井造船生協

県生協連の

国・県行政・議員と情報交換

●石井 正弘岡山県知事と懇談【1月18日(火)】



↑ 県の消費生活センターの相談窓口の体制も充実させたい…と

懇談では、中四国生協・行政合同会議、県への要望書、県議会議員との懇談会、役員研修会などの報告とともに、今後の県生協連や会員生協の取り組みにいっそうのご指導とご協力をお願いしました。

特に、消費者基本法制定後の県の消費生活条例改正にあたっては、消費者（団体）の意向を反映していただくことを要望し、消費者・事業者・行政間の情報交換や消費者政策に関する教育・啓発活動がますます大切になってくることなどについて意見を交わしました。

●食の安全に関する県行政との懇談会が行われました【8月22日(月)】



●県民生活課等との定期懇談会【2月24日(木)】

昨年10月13日に提出していた「県への要望書」に対する回答を中心に質疑、意見交換を行いました。



回答のなかで

- 融資制度が決済用預金に切り替わるので、金利が多少下がる可能性があること。
- 消費生活センターの9月移転を機に、相談業務日が火～日（月は休館日）に改善されること。
- 消費生活条例改正案では、「基本計画」策定を取り入れるなど努力している。
- 農産品のトレーサビリティシステムの品目は、平成20年度までに16品目に増やす予定などが述べされました。

●第21回中四国生協・行政合同会議が鳥取で開催されました【8月31日(水)】

テーマは「行政と生協の協力で、安心・安全な生活の実現を」で、厚労省中国四国厚生局、日本生協連、各県行政担当及び各県生協連役員など67名が出席しました。

開催地鳥取県より歓迎の挨拶、厚生局福祉課長の来賓挨拶につづき、日本生協連などの報告、各県行政担当者からは生協への要望と期待が述べられました。

また、特別報告として①鳥取県防災局防災危機管理課より「鳥取県西部地震を踏まえた主な防災対策」について、②日本生協連より「自然災害と生協の役割～大規模災害に生協はいかにお役に立てるか」について報告がありました。

県からは、「食の安全推進プログラム」の夢づくり政策評価シートにそって、重点施策の取り組み状況、自主検査実施認定事業、リスクコミュニケーションの推進にパンフの作成、県ホームページに「食べ物安全探検ねっと」の掲載、「おかやまの食べものの安全・安心を知ろう」パンフは6万冊作成し、県内の小学4年生全員を対象に配布していること、「食の安全サポーター拡大事業」を新たに実施することなどが報告されました。

また、BSE関連について、全頭検査を継続すること、検査体制等の現状について報告がありました。



取り組み

●岡山県議会議員のみなさまと懇談会の開催【12月2日(金)】

第17回目となった今回のテーマは「消費者をめぐる諸問題と消費者行政」。

議会からは、各会派議員団長(幹事長)と生活環境保健福祉委員会委員(長)の8名が出席されました。

県生協連側から会員生協の活動紹介と消費者をめぐる諸問題などで話題提供を行い、懇談をおこないました。



↑ 「食の安全」は県の重要施策と語られる岸本生活環境保健福祉委員長

← 「団体訴権制度」で適格消費者団体になる要件は…

↑ 地産地消を「食育」に取り入れて…

議員さんからは、県の「消費生活基本計画(素案)」、内閣府が法案策定をすすめている「消費者団体訴訟制度」に関して、消費者教育の問題をどのように考えるか、事業者との関係や適格消費者団体の要件内容は何か、などについて、また、食の安全に関する問題では、県条例化をすればどのようなメリットがあるかなど率直な疑問も出されました。

その他、「地産地消」「食育」に関連して学校給食の食材の取扱いなどの質問も出され、活発な懇談会になりました。

岡山県議会議員のみなさまとの懇談会

岡山県生活協同組合連合会



↑ 懇談会終了後、議員さんとともにパチリ！

組合員・職員・役

●県連・単協役員研修交流会を開催【1月14日(金)】



岡山県生活環境部県民生活課総括参事の三宅 進さんにご挨拶をいただきました。(写真左上)
日本生協連の山下 俊史副会長と環境省自然環境局の市原信男事務所長の講演があり、山下副会長は、日本の生協についての歴史と到着点、ヨーロッパの生協から学ぶべき教訓を明らかにすることを通して、目の前の危機認識から新しい仕組みをつくっていくこと、戦略意志を明確にして、共有された「志」を仕組みに落とし込むことの大切を述べされました。

市原さん(写真左)は、国立公園を保護・管理する体験から環境への想いやパートナーシップの大切さについて述べられました。講演会には、会員生協の役職員幹部約70名が参加しました。



↑ 事業者責任を果たして…最大貢献できる存在へ

●“あってよかった生協”小倉 修吾会長(日本生協連)のお話し【1月21日(金) オルガホール】



↑ “あってよかった生協”講演中の小倉会長

小倉会長には、「これまで生協にかかわってきた体験や想いを、生協の未来に託したい」、そんな組合員の気持ちに触れるお話をいただきました。

参加者からは、「ここが暖かくなりました」「生協の存在理由、活動の広さと可能性を再確認できました」「活動する元気が湧いてきました」「自分たちの活動が社会にこれほど影響が大きいと思わなかった」「ますます生協が好きになりました」等々、感想が多数寄せられました。(講演内容は県連HPに掲載)



会員生協の報告では、
おかやまコープより“振り込め詐欺にだまされないぞ！”
岡山大学生協より“親里をなれどもミールカードで安心”
岡山医療生協より“ヘルスアップチャレンジ”取り組みの定着をめざして

がそれぞれ報告されました。「すばらしい演技、ためになります」「ユニークで楽しそうで参考になる取り組み」「大学の食生活で親子の共有はすばらしいアイディア」などの感想が寄せられました。

●県社協などでつくるボランティア・NPOフォーラム実行委員会に参加しました

1月29日(土)、県総合福祉社会館などを会場に、全体講演会・5つの分科会・活動紹介展示が行われ、ボランティア団体などとともに、延べ460名の市民が交流し、学び合いました。



↑ 全体講演会での早瀬 昇さん



↑ グループ交流の風景



↑ 故闇賞を受賞した岡山医療生協の展示



↑ おかやまコープから3団体が出展

県生協連からは、おかやまコープ、岡山医療生協、三井造船生協の組合員や市民46名が第三分科会に参加しました。

講師は、大阪ボランティア協会の海士美雪さんで、「くらしの助け合いで豊かな地域・まちづくり」をテーマにワークショップ方式を取り入れたお話しがありました。

員が交流し、学ぶ

●「生協のコンプライアンス経営」をテーマに職員研修交流会を開催【2月10日(木)】



坂東 俊矢さん(京都産業大学大学院法務研究科教授・国生審消費者団体訴訟制度検討委員会委員)を迎えて行いました。

大きな捉え方と具体的な事例を交えたお話しは、分かりやすかったと大変好評で、「コンプライアンス」の捉え方を考え直す良い機会となった。現場での視点で今後の仕事に役立てたいなど、生協の業種は異なっていても、共通の問題意識は多く寄せられました。

9生協から、役員・幹部職員84名が参加し、中四国管内の生協からも参加がありました。

●岡山県生協連は、ホーチミン市にあるベトナムの生協・サイゴンコープとツーリー病院を訪問しました。【9月16日(金)～19日(月)】

“マーケットリーダーとして市民の信頼を高めるコープと医療施設の訪問を通して平和の大切さを学ぶ”を目的に。

▶挨拶をされる
サイゴンコープのニヤ理事長



▶サイゴンコープの
説明を聞く一行



▶ディスプレイとボリューム
陳列に活気あふれる店内



▶持参した折鶴を副院長の
ツンさんに手渡す吉永団長



サイゴンコープの概要

- 沿革 生活物資の配給中心の国営協同組合が、ドイモイ政策により解散、89年にサイゴン商業協同組合連合会設立、90年サイゴンコープ発足、96年直営「コープマート」オープン、98年規約制定、役員体制。
 - ・スウェーデンなど海外への研修活動を積極的に進め、日本の生協との研修と交流も進められている。
- 事業内容 小売り、卸し(5.7%)、直輸入、輸出(1.5%)、製造加工(1%)、海外企業との合弁事業。
- 店舗数 コープマート13店 他7店
- 総売上高 8,000万ドル(前年伸長率140%)
 - ・ベトナム最大のスーパーマーケット
- 顧客登録(組合員) 206,000人
- 職員総数 2,865人(平均年齢33歳、女性が57%)
- その他 ISO9001
 - ・ベトナム政府より「労働の英雄」賞 授与

ツーリー病院(平和村)の概要

- ベトナム最大の病院で婦人科専門病院。建物はドイツの支援団体が、設備・備品などの多くは日本の支援団体によって寄贈されている。
 - ベッド数 1,000床
 - 外来患者数 1,300人(1日)
 - ・1年間で45,000(1日150人)人が生まれる
 - 職員数 1,700人
 - 医師 200人
 - ・枯葉剤の影響と見られる障害・死産児は今なお1%で、三代にわたって続いている。
 - ・平和村の施設では、0歳児～24歳までの身体障害者60人が生活している。37人の職員が勤務。
 - ・貧困家庭でお産費用も払えない人が多く、病院が費用も障害をもって生まれた子も面倒をみている。
 - ・この病院でできない治療は他の病院へ転院し、費用はツーリー病院が負担。

TOPICS 2005

県内の

岡
山
県
消
団
連
の
と
り
く
み

●消費者月間学習講演会が開催【6月10日（金）オルガホール】

16団体170名の参加のもとで開催されました。

講演テーマは、「消費者被害の実情と消費者団体の役割を考える」～消費者契約法の充実・改正と消費者団体訴訟制度の導入を前に～と題して、講師は①末木 絹枝さん（岡山県消費者生活センター所長）と②板東俊矢さん（京都産業大学法務研究科教授）。

講演①では、いまだに消費者被害が増え続けていることに驚いた。改めて「クーリング・オフ」の話しが参考になった。消費者として情報を集め、一人ひとりが自立し、賢くならなければならない。

講演②では、「“団体訴権”制度の大切さ、必要性が伝わってくるとともに、反面、法制化や制度として確立していくことの難しさが分かったような気がする」、「団体訴訟制度検討の現段階で、問題になっていることは何か、今後の課題は何かについて、具体的に解き明かされ、聴く人にとって、大変分かりやすいお話だった」などの感想が寄せられました。



↑不当請求にご用心！玄関先に貼っておくのも効きますよ…



↑団体訴権を担う適格消費者団体の要件は…と板東先生

●「消費者団体訴訟制度」情報交換会を県消団連の呼びかけで開催【6月9日（木）】

内閣府国民生活局の国生審消費者政策部会「消費者団体訴訟制度検討委員会」は「消費者団体訴訟制度の在り方について」を発表。

岡山でも消費者・消費者団体として団体訴訟制度をどのように考え、協力し合ってできることは何かなどについて情報を交換しました。

11団体より16人が出席され、立法後の「受け皿」組織、消費者教育及び相談機能の意義や必要性などについて、意見が交わされました。

今後についても、情報交換と学習（研究）の場として、またパブリックコメント等へ対応できる機能をもった「連絡会」的な「集まり」を継続的にもつこと。併せて県内の他団体・個人へのよびかけも行っていくことを確認しました。

「連絡会」は、岡山弁護士会、岡山司法書士会、岡山大学法務研究科、NACS岡山研究会、岡山県消団連、岡山県生協連が協力して運営にあたり、それぞれの団体に連絡窓口を置くこととしています。

●「団体訴権」おかやま連絡会の勉強会が行われました【8月20日（土）】

「団体訴権」問題をめぐる最近の状況と既存の訴権団体（準備組織）の現状と課題を学ぶことを通じて、岡山では何ができるかを視点に意見交換を行いました。「会」は、当面以下の取り組みを行うこととしました。

- ①「連絡会」参加の呼びかけを団体・個人に行う。
- ②総選挙後の新議員に要請活動を行う。
- ③パブリックコメント募集では「意見」を提出する。
- ④NPO消費者ネット広島との交流機会を設ける。
- ⑤財政（運営）計画を検討する。



↑消費者にとって訴権団体が身近に在ることは大切なこと…

●第19回岡山県消費者大会に15団体230名が参加【10月28日（金）】

今回は、講演とパネルディスカッションの構成で行われました。

講演は、「くらしと社会保障」と題して、金沢大学経済学部教授の横山 寿一先生より。

パネリストとして、ライフプランナーアドバイザー、介護施設管理者、金融関係者の方々に出席いただき、横山先生をコーディネータに意見交換が行われました。

協 同 組 合・諸 団 体 と と も に

●岡山県協同組合連絡協議会交流会【7月5日(火) ピュアリティまきび】

国際協同組合デーを記念して1996年に始まった交流会は、10回目を迎え、県内の4協同組合の役職員と県農林水産部職員など総勢47名の参加のもとで行われました。

吉永紀明協議会副会長（県生協連会長理事）の開会挨拶と県農林水産部の藤井組合指導課長の挨拶に続いて、「望ましい食生活の実現に向けた食育の推進」と題して、根岸久子さん（地域社会計画センター客員研究員）に基調講演をいただきました。

講演の感想などを出し合い、JA岡山中央会会長の村上進通さんの閉会の挨拶で締めくくりました。

交流会の後は、懇親会に移り、和やかに親睦が深められました。

●第24回岡山県民平和のつどい【7月10日(日) ママカリフォーラム】

今年の平和のつどいは、“被爆・終戦60年…もっともっと輝かそう憲法9条を！子どもたちの未来のために”をテーマに、延べ約500人が参加しました。

県婦人協議会などのコーラスや、岡山大うたう会「みみんこ」による歌や踊り、被爆者会からのメッセージ、NPT再検討会議参加者からの報告、朗読劇などが企画され、平和の価値、戦争をしないことの意義を深く考える時間を過ごすことができました。

講演では、「いわさきひろが教えてくれたこと」と題して、ちひろ美術館副館長の松本由理子さんが、ちひろが絵に託した平和と子どもたちへの思い、命の尊さについて、ちひろの作品を映像で紹介しながらお話しをされました。

また、シンガーソングライターのきたがわてつさんが自らの作曲した「日本国憲法」「わたしを褒めてください」などを熱唱。



↑朗読劇「薔薇の黙示録」



↑「平和」憲法をうたう



↑ちひろが絵に託した想いは…



◆ “ピースリレー”市民平和行進2005【7月16日(土)～26日(火)】

7月16日、日生運動公園でフリーダムの演奏に迎えられて引き継いだ平和行進は、11日間の県内幹線コースと10の地域コースで取り組まれ、7月26日に広島県に無事引き継がれました。



↑梅雨明けと同時に兵庫から引継いで　↑被爆者の方々から、実体験談

「地球から核兵器の廃絶を一刻も早く実現させよう」「イラク戦争をやめさせよう」「被爆者を援護しよう」「戦争体験を語り継ごう」「平和憲法を守って未来の子どもたちに平和を残そう」などの思いを、歩くことを通じて、また、お母さんや子どもたちとの「交流」や「つどい」を通して、アピールし、平和への想いをいっそう深くしました。

行進コースにあたる自治体からは、休日であっても町長、議長、担当部課長さんの励ましを、また、猛暑のなか、おかやまコープの組合員や自治体職員、婦人会のみなさまに飲み物などの接待もいただいて、大いに元気づけられました。主催団体として紙面をお借りして、心よりお礼申し上げます。



↑東山原爆慰靈碑で



↑県庁正面の広場で…出発集会のようす



↑行進を迎えてくれた地元の園児たち



↑みんなの思いを広島に託して

協

同

連

帶

交

流

会員生協

岡山大学生協 創立10周年



事業開始10周年を記念して、レセプションを開催しました。

学長・副学長や生協設立準備委員会の教職員・学生など130名にご参加いただきました。

今後、学生の成長を育み活気あふれるキャンパスづくりを目指し20周年に向けて再出発することを誓いました。

水島協同病院

増改築工事竣工式

「夢プラン21」の最大の工事である水島協同病院の増改築が完成し、10月23日に1階のリハビリ室で、業者・職員の代表者、建設委員会の組合員が参加、竣工式が行われました。今後も一人ひとりが大切にされる医療・介護をめざします。

【倉敷医療生協】



開設25周年記念 池田香代子さんの 「日本国憲法」講演に120人【津山医療】



憲法改定の是非が問われている時にタイムリーな講演で、平日の夕方にもかかわらず120人の人が集まりました。

池田さんは、日本国憲法の作られた背景を説明しながら、憲法を守るために私たちが今何をなすかを問いかかけました。

クリーンキャンパス 2005



大学や校友会などと協力して、230名の参加で岡山大学を大掃除しました。70袋のゴミを集め、エコキャンパスを確認しました。

【岡山大学生協】

10周年記念レセプションを開催しました。

学長・副学長や生協設立準備委員会の教職員・学生など130名にご参加いただきました。

今後、学生の成長を育み活気あふれるキャンパスづくりを目指し20周年に向けて再出発することを誓いました。

おかやまコープ コープ大福リニューアルオープン



11/29にコープ大福がリニューアルオープンいたしました。

「おいしい店・お買い物」が楽しくなる店をコンセプトに外



観はもちろん、生鮮部門の充実、惣菜部門も拡充をして組合員のニーズにお応えできる店舗をめざします。

葬祭ホール

「ベリーズセレスト和田」【三井造船生協】

12月25日で一周年、組合員さんの口コミもあって、利用件数が増えています。自宅での葬儀の受注も増加。ホール葬・自宅葬それぞれひとつ月10件程度の利用があり、組合員さんから感謝の言葉を頂いています。

便利屋ライフサービス



「ちょっとした困りごと」へのサポートで、ひと月平均30数件の受注があります。5月1日からスタート。【三井造船生協】

世界に例をみない“記録”

「公害死亡患者遡及調査」刊行記念レセプション

501人の公害認定患者の死亡症例を精査した公害死亡患者遡及調査」出版記念会が11月19日に開かれました。

レセプションで三重大学名誉教授の吉田克己氏は、「世界に例をみない貴重な記録」と評価されました。公害患者の平均余命が全国平均より5年以上短いことなどが明らかにされています。



【倉敷医療生協】

児島湖及び流入河川で家庭会環境委員会が 水質調査【三井造船生協】

水質調査は、1992年から23ヶ所でCODパックテストと透視度計を用いて定期的に実施しています。今年も8月2日・3日の2日間にわたって定点調査を実施しました。



トピックス

新規組合員活動…保障設計運動の展開に向け 保障設計プランナー講座開催



県内の各地区・協力団体で、社会保障・生命保険・損害保険・税金・金融商品などの基礎知識を学び、組合員への相談・アドバイス等へ活用いただくことを目的にしています。11会場237人が受講されました。

【県労済生協】

赤ちゃんマッサージで～子育て支援中！ しっかりキンシップを【岡山医療生協】



7月7日、岡山協立病院で初めての「赤ちゃんマッサージ」が行われました。

マッサージを通じて親子のキンシップを深めてもらいたい、子育てに孤軍奮闘しているお母さんをサポートしたいと始めたものです。

毎月一回、地域に参加を呼びかけています。

おかやまコープクラブ 備北地域 「地産地消 食彩楽交」



10月7日、高梁国際ホテルを会場に130名が集い、地産地消の取り組み「食彩楽交」が開催されました。

5月以降3回の農業体験を重ねてきた集大成として、生産者・消費者・関係団体が学習と交流を深めました。

生協のまつり・健康まつりが盛大に

JFEコープでは、5月22日(日)に「ご利用に感謝・還元、JFEコープ存在感のアピール」をテーマに「2005JFEコープまつり」を開催。

当日は、悪天候の中、フリーマーケットの出店がほとんどキャンセル、最悪の状態でしたが、7千人の来場があり、お子様からお年寄りまで楽しいひと時を過ごしました。



津山医療生協では、11月20日(日)に健康まつりが行われました。会場も今までより広く、地元町内会に共催してもらい、周辺地域への宣伝もあり、近年最高の1,200人の参加で賑わいました。

蒜山の子ども太鼓、大道芸、工業高校のプラスなどの催しに参加者も大喜び、屋内の無料健康チェックも好評で、順番待ちの列が最後までつづいていました。

倉敷医療生協では、11月13日(日)に「水島・大高健康まつり」が水島南春日町第一公園で開催され、2,500人が集まりました。

今年の中央舞台でのメインステージは、細谷唯文コックアンサンブルによる「ふるさと岡山を謡う」で、すばらしい歌声に会場がつつまれ、まつりは笑顔で大いに盛り上がりました。



おかやまコープ 家族ができる1日エコライフ

10月にライフスタイルの見直しをめざし、より多くの人が気軽に参加できる取り組みとして「家族ができる一日エコライフ」に取り組みました。

10月の任意の日に、各家庭で「エコライフデー」を設け、例示した項目に取り組み、結果を報告するというものです。

3,789世帯から報告いただき、エコライフが広がりました。



あなたの笑顔にいやされて…東山中学校生の夏休み 車椅子ボランティア体験



岡山医療生協では、協立病院とボランティアグループ・地元の東山中学校と共に、夏休みの期間に毎年「車椅子ボランティア体験」を行っています。

今年は、7月に8日間、61名の参加で実施しました。参加した生徒さんからは「将来は看護師や介護士になるのが夢なので、いい経験ができました」という声が寄せられました。

岡山県生活協同組合連合会紹介



概況

1959年9月に創立総会を開催して設立された岡山県生協連は、当初17生協の参加でスタートしました。

現在、11の会員生協に、延べ65万5千世帯の組合員が加入する県内最大の消費者組織となっています。

購買生協は地域、職域の7生協、医療生協は3生協、それに労済生協とで構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

代表者名 会長理事 吉永 紀明

会員数 11生協

会員総組合員数 655,209人 (2005.3.31)

会員総出資金 15,536,250千円 ()

会員総事業高 81,264,910千円 ()

設立登記年月日 1960年3月2日

役員数 (常勤理事) 1人

(非常勤理事) 13人

(非常勤監事) 3人

職員数 (定時) 1人

役員構成

会長理事	吉永 紀明	(おかやまコープ 理事長)
副会長理事	堀川 貞徳	(三井造船生協 理事長)
副会長理事	木村 高清	(岡山医療生協 専務理事)
専務理事	安場 靖	(常勤一員外)
理事	大山 裕一	(県学校生協 専務理事)
理事	大橋 武	(県労済生協 専務理事)
理事	三橋 幸夫	(おかやまコープ 副理事長)
理事	上甲 啓一	(岡山大学生協 専務理事)
理事	川端 慶郎	(JFEコープ 専務理事)
理事	田中 俊正	(倉敷医療生協 常務理事)
理事	佐々木正昭	(津山医療生協 専務理事)
理事	吉田 弘美	(おかやまコープ 理事)
理事	山本 康子	(倉敷医療生協 常務理事)
理事	平井 淑子	(三井造船生協 理事)
監事	上村 昇	(岡山医療生協 常務理事)
監事	近藤 清志	(おかやまコープ 常勤理事)
監事	名合 正壽	(本花滝生協 組合長)

会員紹介 (設立期順)

岡山県学校生活協同組合

代表者名 理事長
岡本 和子
組合員数 13,139人
出資金 107,139千円
供給高 613,572千円
活動エリア 岡山県下公立、
幼・小・中・
高校職域（県下全域）



設立登記年月日

1949年8月22日

役員数 (常勤) 1人 (非常勤) 12人 (監事) 4人
職員数 (正規) 8人 (内2人出向) (パート) 1人
概略

岡山県学校生活協同組合は、県下公立学校・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等、教育庁関係職場に勤務される方とその職場を退職された教職員を対象とした職域生協で組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949年に発足以来、組合員の皆さまとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちを取り巻く状況は、先行き不透明で不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和やくらしを守る生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに変革しながら、生協本来の活動に邁進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。

三井造船生活協同組合

代表者名 理事長
堀川 貞徳
組合員数 24,126名
出資金 423,036千円
供給高 5,729,800千円
活動エリア 玉野市、岡山市、
倉敷市の一部
職員数 (正規) 84人
(定時) 99人
概略



1950年11月に職域生協として設立。以来55年『人と人のつながりを大切にし、健康で心豊かなくらしの実現を目指します』の理念のもと、現在では職域ばかりでなく、地域組合員のくらしを支える協同相互組織として、店舗（玉野市内に5店舗）及び共同購入での供給事業、葬祭事業を中心とした利用事業や共済事業を開発。

また、組合員活動では1956年に結成した家庭会（地域組合員組織）を中心として環境・福祉に積極的に取り組み、中でも家庭会チャリティバザーは連続27年間毎年収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈（累計で1,421万円）など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による・組合員のための生協、また、人と環境にやさしい地域社会の発展に貢献できる生協づくりを進めてまいります。

くらしの中に、そして地域の中に生協がある。

～こういう生協をめざして～

本花滝生活協同組合

代表者名 組合長
名合 正壽
組合員数 94世帯
出資金 4,700千円
供給高 8,334千円
活動エリア 芳井町花滝地区
設立登記年月日

1950年6月18日
(生協法上の登記)

役員数 (非常勤) 7人
(監事) 3人
職員数 (正規) 0人
概略



本組合は、元産業組合法と定款第一章第1条の目的に依り設立し爾後経営維持し大正12年2月本花滝利用組合に組織変更、昭和25年、本花滝生活協同組合に改組し現在に至っています。本組合は、協同互助の精神に基づき生活の文化的、経済的、改善を計ることを目的として活動しています。

岡山医療生活協同組合

代表者名 理事長
浪尾 淑子
組合員数 52,075人
出資金 1,564,403千円
事業高 6,554,804千円
活動エリア 岡山県下一人
設立登記年月日

1952年10月21日

役員数 (常勤) 8人 (監事) 5人
(非常勤) 27人
職員数 (正規) 554人
(定時) 192人
概略



1952年に設立された当生協は、現在、組合員は5万2千人を超え、出資金15億6千万円となりました。

今年度は電子カルテの導入や臨床研修医の受け入れ体制を充実させる中、さらに医療の「安全性」と「質」の向上をめざしています。また、全事業所で「患者の権利章典実践ガイドライン」・「医療生協の介護」にそったチェック・改善を組合員・職員がそれぞれの立場で実践し、利用者の満足度を高め、利用しやすい事業所づくりをすすめています。

私たち医療生協は施設整備・医療の内容の充実に努力すると同時に、地域ではお互いに支え合い・助け合って安心して住み続けるまちづくり・健康なまちづくりをめざしています。

今年度はそのことをさらに強めるために、全国の仲間と手をつないで「300万人組合員達成運動」にとりくんでいます。

会員紹介 (設立期順)

倉敷医療生活協同組合

代表者名 理事長
杉山 信義
組合員数 65,972人
出資金 1,565,798千円
事業高 9,140,058千円
活動エリア 岡山県全域
設立登記年月日 1955年2月
役員数 (常勤) 10人
(非常勤) 20名 (監事) 6人
職員数 (正規) 755人 (定時) 324人
概略

倉敷医療生協は、総合病院水島協同病院を中心として2つの病院と6医科診療所、7歯科診療所、老健施設、3訪問看護ステーション、2ヘルパーステーション、デイサービスセンター、在宅介護支援センターなど機能が違った施設をもち、医療・介護・福祉のネットワークづくりをめざしています。医療生協の『患者の権利章典』の実践としてカルテ開示や組合員参加の「事業所利用委員会」を中心に、かかりやすい事業所づくりにもとりくんでいます。

昨年10月には、安心して療養できる環境整備、高まる地域医療ニーズへ対応した水島協同病院のリニューアル工事が完了しました。本年は、急性期病院にふさわしい中身づくりの真価が試される年です。

平和とくらし、健康で明るい社会の実現をめざして、引き続き全力をあげてまいります。



岡山県労働者共済生活協同組合

代表者名 理事長
真鍋 勝幸
組合員数 215,009人
出資金 1,184,570千円
契約件数 490,190件
契約口数 48,873,991口
給付件数 25,316件
(2004年度実績)
給付金総額 39億5,023万円 (2004年度実績)
活動エリア 岡山県一円
設立登記年月日 1961年4月1日
役員数 (常勤) 2人 (非常勤) 26人
職員数 27人
概略

岡山県労済生協(全労済岡山県本部)は、営利を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得て事業運営をおこなっています。

生命系の遺族保障や医療保障、損害系の住宅保障や自動車事故補償など共済を通じた、組合員の皆様の「安心とゆとりある暮らし」を目指した事業をおこなっています。

2005年10月より「こくみん共済」において、医療保障の終身タイプや大型の保障タイプの新設、および継続加入年齢の引き上げや1泊2日からの医療保障など、これまで組合員の要望の高かった内容も盛り込んだ制度改定を行いました。

2006年において、「自動車共済」の一部改定や「個人長期生命共済」の見直しなどを予定する中で、組合員の皆様の声を更に反映した制度・保障体系・サービスの充実を図ることとしています。

今後も、より一層社会的役割を果たしながら、保障の生協としての理念に基づく事業の推進に向け、組合員の皆様の負託に応える健全な事業運営と、保障ニーズに沿った事業展開に努めてまいります。



C 生活協同組合おかやまコープ。

代表者名 理事長
吉永 紀明
組合員数 261,164世帯
出資金 10,584百万円
事業高 49,098百万円
活動エリア 岡山県一円
(定款エリア)
設立登記年月日 1956年6月13日
役員数 (常勤理事) 7人 (非常勤) 24人
(常任監事) 1人 (監事) 5人
職員数 (正規) 573人 (定時) 1,967人
概略



おかやまコープは、岡山県民の26万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

共同購入と店舗での食品や日用品を供給する事業を軸に、たすけあい共済や火災共済等の共済事業、在宅介護を支援するホームヘルプサービス事業を行っています。

品質管理の国際規格ISO9001や環境ISO14001を取得しています。また、産直牛肉やかきのトレイサビリティシステムを導入するなど安全・安心な商品の提供や地産地消の活動を進めています。

また、商品トレイの回収、「1日エコライフ」などの誰でも参加できる環境保全活動や、「子育てひろば」や「ふれあい・いきいきサロン」などをひろげていく福祉ボランティアの養成にも取り組んでいます。

関連会社のコープP&Sでは、旅行・飲食・フィットネス事業の他、葬祭や保険などのあっ旋事業も行っています。

セイレイ工業岡山地区生活協同組合

代表者名 理事長
飯田 敏英
組合員数 516名
出資金 516千円
供給高 23,757千円
活動エリア 職域(工場内)
設立登記年月日 1965年1月25日
役員数 (常勤) 0人 (非常勤) 10人
職員数 (正規) 1人 (定時) 0人
概略



当生協は新岡山港の近くの「ヤン坊マー坊」でおなじみのヤンマー農業機械の総合機械メーカー、セイレイ工業の敷地内で活動しています。

組合員数500余名と限られた範囲での活動であり、これから組合員の減少が予測される中、安定経営および、組合員の要望にそった活動が出来るよう一層の努力が問われています。

組合員は、夏は岡山桃太郎祭りに揃いのハッピ姿の踊り連として、地元岡山の行事に積極的に参加しております。

秋には、毎年岡山市内の小学生に工場見学に来て頂いております。業務の多忙な時期に案内役も大変ですが、元気いっぱいの小学生の「ありがとう」にさえらがんばっています。

一年間を通じての地域の公園や遊歩道のクリーン作戦も回を重ね、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

会員紹介 (設立順)

津山医療生活協同組合

代表者名 理事長
中西 孝
組合員数 6,358人
出資金 82,999千円
事業高 271,045千円
活動エリア 県下全域
(主には、津山市と
津山市周辺町村)



設立登記年月日
1980年8月12日

役員数 (常勤) 1人 (非常勤) 19人 (監事) 4人
職員数 (正規) 14人 (定時) 23人
概略

津山医療生活協同組合は設立以来、患者様・利用者様の権利を尊重し、親切で良い医療と介護を行い、働く人々の命と健康を守るために全力を尽くしています。又、津山医師会・自治体とも協力して地域の健康づくりを進めています。

現在、地域になくてはならない在宅生活支援総合センターとして診療所、訪問看護ステーション、2居宅介護(ケアプラン)事業所、ヘルパーステーション、デイサービスなど医療・保健・介護のネットワークを広げ、組合員・地域の人たちが安心して暮らせる「明るいまちづくり」を進めています。

2005年度は25周年企画として、これまでにない企画と規模の「健康まつり」、ドイツ文学翻訳家・池田香代子さんをよんでの“100人の村から憲法が見えた”「やさしいことばで日本国憲法講演会」を開催、新年1月には蕨野行一わらびのこう「映画上映会」を開催します。

岡山大学生活協同組合

代表者名 理事長
保田 立二
組合員数 15,052人
出資金 192,026千円
供給高 1,712,598千円
活動エリア 岡山大学津島・鹿田キャンパス
設立登記年月日



1995年2月20日
役員数 (常勤) 1人
(非常勤) 28人
(監事) 4人
職員数 (正規) 20人
(定時) 90人
概略

岡山大学生活協同組合は、岡山大学の学生・教職員の手によって1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員組合員により品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしい様々な事業を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのマスカットユニオン・ピーチユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館という大学の福利施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業など幅広い事業に取り組んでいます。

生活協同組合JFEコープ

代表者名 理事長
戸田 裕史
組合員数 12,048世帯
出資金 109,170千円
供給高 759,498千円
活動エリア 倉敷、総社市、笠岡市他周辺市町村
一帯



設立登記年月日
1987年11月12日

役員数 (常勤) 2人
(非常勤) 22人
(監事) 3人
職員数 (正規) 23人
(定時) 25人
概略

製鉄所内での売店や食堂を持たず、チラシによる共同購入を中心供給している、全国的にもユニークな職域生協です。

事業内容も食料品、日用雑貨のほか衣料関係の展示会をはじめ、コープ共済や住宅リフォーム、ガソリン、クリーニング等多岐にわたっています。

又、調理、手芸などのレク活動や趣味のサークル活動だけでなく、さらに当生協まつりの自主企画や同新聞の自主製作など、組合員活動の巾の拡大・質の向上に努め組織の活性化をはかっています。

会員生協住所・連絡先 (設立登記順)

会員生協名	住所	電話・FAX
岡山県学校生活協同組合	〒703-8238 岡山市住吉町2-38	TEL 086-272-4033 FAX 086-272-4034
本花滝生活協同組合	〒714-2104 井原市芳井町花滝2834-5	TEL 0866-73-0202
三井造船生活協同組合	〒706-0012 玉野市玉二丁目5-5	TEL 0863-31-5566 FAX 0863-31-7459
岡山医療生活協同組合	〒703-8288 岡山市赤坂本町2-20	TEL 086-271-0943 FAX 086-271-7854
倉敷医療生活協同組合	〒712-8025 倉敷市水島南春日町13-1	TEL 086-448-6210 FAX 086-448-4150
生活協同組合おかやまコープ	〒700-0026 岡山市奉還町一丁目7-7	TEL 086-256-2511 FAX 086-256-2585
岡山県労働者共済生活協同組合	〒700-0024 岡山市駅元町6-26	TEL 086-254-2155 FAX 086-254-8116
セイリ工業岡山地区生活協同組合	〒702-8004 岡山市江並428	TEL 086-276-8115 FAX 086-276-9850
津山医療生活協同組合	〒708-0872 津山市平福547-1	TEL 0868-28-3858 FAX 0868-28-3803
生活協同組合JFEコープ	〒712-8007 倉敷市鶴の浦三丁目1-1	TEL 086-448-4010 FAX 086-448-1097
岡山大学生活協同組合	〒700-0082 岡山市津島中二丁目1-1	TEL 086-251-7207 FAX 086-256-0445

「消費者団体訴訟制度＝団体訴権」 が創設されます

—(2006年(平成18年)の通常国会で、政府案として法案の上程がされる予定です)—

消費者団体訴訟制度とは？

消費者全体の利益を守るために、一定の要件を満たす消費者団体に訴訟を起こす権利を認める制度です。現在でも、個々の消費者が被害回復を求めて裁判をすることはできますが、お金・時間・専門知識などの面で敷居が高く、泣き寝入りしてしまいがちです。悪徳事業者の「やり得」を防ぎ、消費者被害の未然防止・拡大防止にもつながる制度です。

従来の日本の裁判制度では、被害にあった人でないと裁判を起こせませんでしたが、団体訴権制度は、直接の当事者でない消費者団体が裁判を起こせるようにするという点で画期的な制度といえます。

団体訴訟制度の導入については、平成12年に成立した「消費者契約法」の「付帯決議」で、5年を目途に同法を改正し、「団体訴権」を検討することと謳っており、また、近年の**契約・勧誘に関するトラブルの急増**が制度導入を急ぐ背景にもなっています。

全国の消費生活センターに寄せられる消費者の苦情・相談件数は増えつづけています。

国民生活センターが集計した消費生活相談件数は、2004年度に183万件となり、10年前の7.8倍となっています。中でも、「契約・解約」に関する相談が増えており、相談件数の86%をしめています。(05年消費生活年報より)

ところが消費生活センターに相談している方は、全体の5.3%(第35回国民活動動向調査)にすぎず、販売店やメーカーへの相談がある一方、多くの場合相談先がわからなかったり、泣き寝入りしているのではないかと推測されます。

消費者団体訴訟を起こせる消費者団体とは？

団体訴権制度の実現によって、すべての消費者団体が訴訟を起こせるようになるのではなく、一定の基準を満たし、あらかじめ行政に訴権をみとめられた団体が消費者団体訴訟を起こせるようになります。

すでに、団体訴権制度の担い手となるべく、地域の消費者団体・生協・消費生活相談員・弁護士・学識者・学生などが連携し各地でネットワークづくりがすすんでいます。

ご紹介

岡山県消団連〔岡山県消費者団体連絡協議会〕

結成…1987年10月19日、県下12団体、47名の代表が出席して結成総会が開かれた。

構成団体…13団体で構成、各団体より2名以内の幹事を選任、隔月定例で幹事会を開催。

代表幹事…4団体より4名が代表幹事を務めている。

構成団体名…JA岡山県女性組織協議会〔代表幹事：小林 旬子〕	おかやま酪農協女性部	岡山県母親連絡会
青年法律家協会岡山支部〔代表幹事：近藤 幸夫〕	岡山県労働者共済生活協同組合	岡山県青年団協議会
岡山県労働者福祉協議会〔代表幹事：枝木 俊彦〕	生活協同組合おかやまコープ	倉敷医療生活協同組合
岡山県生活協同組合連合会〔代表幹事：吉永 紀明〕	三井造船生活協同組合	岡山医療生活協同組合
新日本婦人の会岡山県本部 事務局…岡山県生活協同組合連合会内		

主な活動…岡山県消費者大会、消費者月間学習講演会などを主催。

税・年金・社会保障、食の安全、地球環境保全、食料・農・漁業問題、医療・福祉・介護・消費者政策など多岐にわたる課題をかけ、年間を通して他団体とも連携して、学習と交流を中心に取り組んでいる。

岡山県消費生活センター 〒700-0807 岡山市南方2-13-1 きらめきプラザ5階 TEL 086-226-0999
消費生活相談の受付け…火～土(月曜日休み) 9:00～12:00 13:00～17:00 (津山分室 TEL 0868-23-1247)

岡山県生活協同組合連合会

事務所 岡山県岡山市下石井一丁目1番3号 日本生命岡山第二ビル8階
TEL (086)221-4301 FAX (086)221-4343
E-mail : coop701@okayama-coop.or.jp
ホームページ <http://kenren.jccu.coop/okayama>